

# A 世界とつながる工場 ~工業の発達とわたしたちのくらし~

平成 18 年 11 月 29 日 第 5 学年 1 組・2 組

## 1 単元の目標

関心・意欲・態度	Aの工業生産の様子に関心を持ち、それを意欲的に調べることを通して、食を支えるAの工業生産の発展について関心を深めている。
社会的な思考・判断	Aの工業生産の様子から、学習の問題を見出して追究・解決し、国民生活を支えるAの工業生産の意味を考え、適切に判断することができる。
観察・資料活用の技能・表現	Aの工業生産の様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現することができる。
社会的事象についての知識・理解	Aの工業生産は、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。

## 2 単元について

### 指導の手だて

- (1) **身近な教材(地元大企業)** 広島県にある自動車工場「B」、地元にある食品産業の総合企業「A」を取り上げることにより、児童が課題追究を意欲的に取り組むようにさせる。
- (2) **ウエビング・ナンバリング・マッピングでの課題発見** 児童が自分の興味や関心の幅を広げ、問題を多面的に捉えるためにウエビングを用いる。その後ナンバリングや学級でのマッピングにより追究していく課題を明確にさせておく。
- (3) **調べたいことを明確にした社会見学** 調べたいことを明確にして工場見学に行き、工業生産の仕組みや従事する人々の工夫や努力に関心を持たせ、意欲的に追究させる。
- (4) **調べ学習・資料の読み取りワークの家庭学習** 授業時間内に考えを深め合わせるために、授業の終わりに新たな課題を見つけるように設定し、次時の課題解決に向けての調べ学習や資料の読み取り等を家庭学習で取り組ませる。
- (5) **身近な人材(スペシャルゲスト)** 工業に対して世界的な視野を持っておられ、未来への展望について話をして下さる方の話を聞き、関心を高める。
- (6) **ジャストシート(読解力育成)** 児童が学んだことを知識、理解に終わらせず、自分の考えを持たせるためにジャストシートを書かせる。シートでは、二者択一討論などで自分の立場を明確にし、調べ学習や資料等で考えた根拠を明らかにさせる。思考のフローチャート化を図り、社会的読解力をつける。

### 児童は

【Aについて】児童は「A」の看板をよく目に見ているが、何をしている会社なのか知っている児童はほとんどいない。アンケート調査の結果、「A」の製品を知っている児童は、34名中2名であった。保護者がAで働いている児童は1名である。「A」は、毎日食べている米に関わる製品を作っているが、本単元の前に取り上げる自動車工場のBと違って、子どもたちの生活の中では見えにくい製品を作っていることが原因と考えられる。

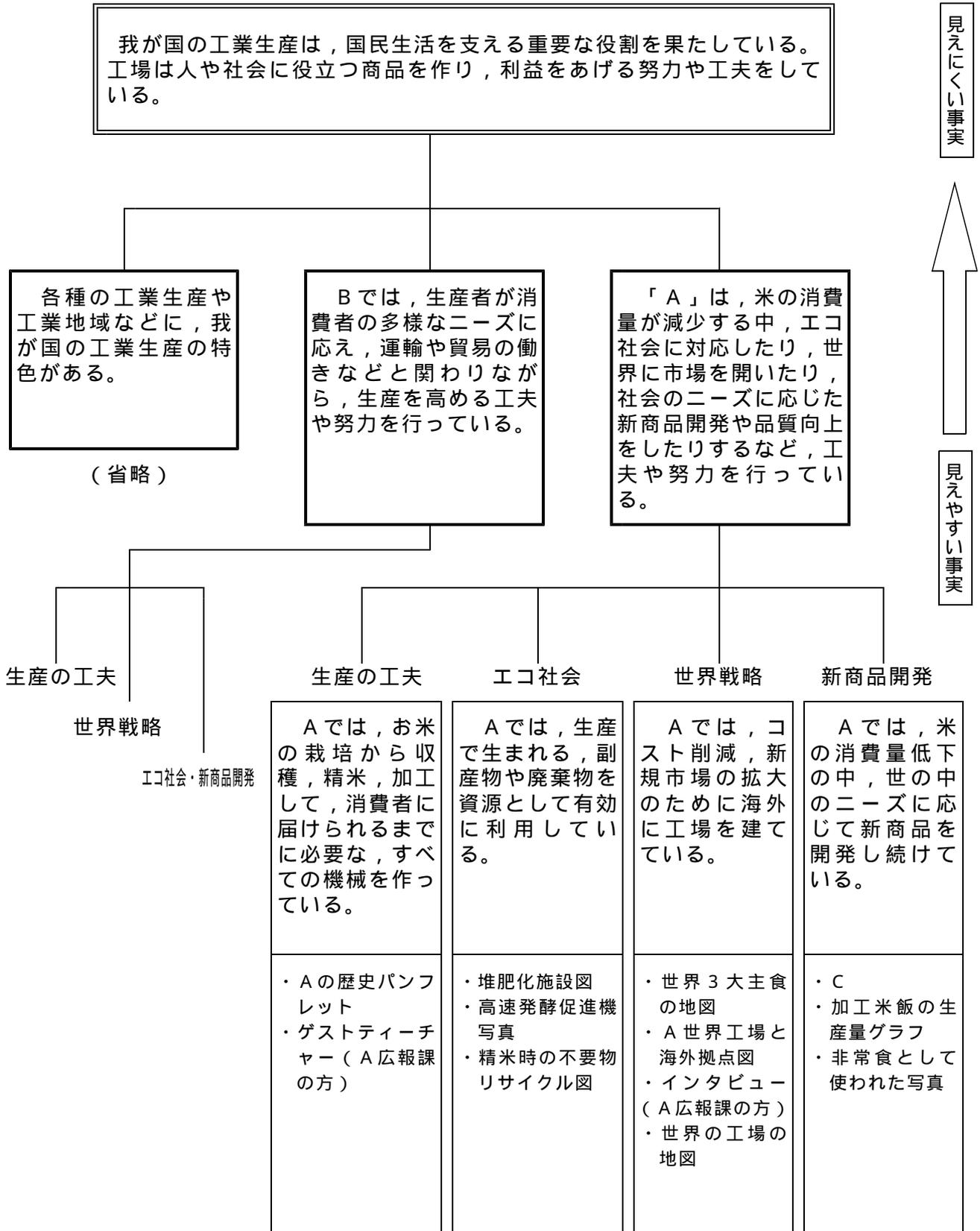
【考えを持つ】児童は資料をもとに自分の考えを交流し合う経験をしている。しかし、考えの根拠を明らかにできる児童は少なく、交流の中で自分の考えを友達と比較、深化できるまでには至っていない。

### この単元は

【概略】本単元では、我が国の工業生産について、様々な工業製品が国民生活を支えていることや、我が国の各種の工業生産や工業地域の分布、また、工業生産を支える貿易や運輸の働きについて理解することをねらっている。また、身の回りの工業製品について調べ、工業生産と自分たちとのかかわりを身近にとらえることを通して、我が国の工業発展について関心を深めることをねらいとしている。

【中心となる内容】Aは日本初の動力式精米機を販売した創業110年の歴史ある会社である。現在は、米の分野、麦・とうもろこしの分野、食品の分野、環境機械の分野、産業機械の分野と幅広く展開している。また、製品は全世界140カ国へと輸出されている。精米・製粉業界においては「A」は世界のトップブランドであることをつかませたい。

### 3 内容構造図



4 指導計画及び評価規準 (全8時間 本時3 / 8)

次時	学 習 活 動	評 価 規 準
1	<p>Aは東広島市にある精米機の世界的な工場であることを知り、「食品産業の総合企業」を目指しているわけを調べる。</p> <div data-bbox="229 434 683 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、Aは世界一の精米機の工場なのか。</p> </div> 	<p>地域の中に古くからあるAの事業の全容を知り、米作りや酒作りに深くかかわっていることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p>
2	<p>Aは生産で生まれる副産物や廃棄物を資源として有効に利用していることを知る。</p>  <div data-bbox="395 674 820 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Aは環境問題に対して、どのような取り組みをしているのだろう。</p> </div>	<p>エコ社会をめざし、循環型社会に向けて積極的に企業努力していることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p>
3 (2組本時)	<p>Aは米と小麦粉とコーンという三大食品を事業領域として世界市場に展開していることを知る。</p>  <div data-bbox="229 981 699 1084" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、アジアにAの工場を多く作ったのか。</p> </div>	<p>世界を視野に入れて、世界140カ国に輸出、世界精米市場を独占していることを理解している。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p>
4 (3組本時)	<p>米の消費量低下の中、多様な消費形態を示し、消費の拡大を目指していることを知る。</p>  <div data-bbox="395 1256 820 1359" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ、世界一の精米機の会社であるAがCを作っているのだろう。</p> </div>	<p>今後予想される世界的な食料不足、災害用の非常食等世界的なニーズを考え商品開発に取り組んでいることの必要性を考えている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断】</p>
5 6	<p>Aの工場見学をする。</p> <div data-bbox="229 1532 651 1635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Aの工場見学をして、自分が見つけた課題を解決しよう。</p> </div> 	<p>東広島市にあるAの工場は、様々な工場に分かれており、米作りと深く関わっていることをとらえている。</p> <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p>
7 8	<p>Aで働いておられる人に対して、学んだことをまとめたA新聞を送る。</p>  <div data-bbox="411 1809 820 1912" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「世界につながる工場A」を新聞にまとめて、発信しよう。</p> </div>	<p>Aの工場で働く人に対して、学習した内容と考えたことを感謝の気持ちを込めて書いている。</p> <p style="text-align: right;">【技能・表現】</p>

5 本時(第4時)の目標

Cの開発を通して、工場は社会の必要に応じて消費の拡大のために努力していることについて考えることができる。

6 本時の展開

思考過程	発問・指示	予想される反応	指導の手だて 評価規準 研究仮説との関わり
つかむ	<p>1 Aはどんなものを作っているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精米機の写真</li> <li>・ ライスセンターの写真</li> </ul> <p>2 .Cを見て気が付いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界一の精米機の工場だな。</li> <li>・ 大きな精米機や家庭用の精米機を作っているな。</li> <li>・ 米に関わる機械を多く作っている。</li> <li>・ とても軽い。乾燥している。非常時用とかいてある。一人分になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aの製品を復習することで、機械を作っていることを意識させる。</li> <li>・ グラフで生産の割合を確認する。</li> <li>・ 機械の写真を示し、視覚的に作っているものを確認する。</li> <li>・ 実物を観察することによって、米を加工したものであることを実感させる。</li> </ul>
<p><b>なぜ世界一の精米機ของบริษัทであるAがCを作っているのだろう。</b></p>			
考える	<p>3 .Cを開発した理由を根拠を明らかにしながら書きましょう。(予想)</p> <p>4 .自分の考えを確かな証拠をもとに発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米の消費量のグラフ</li> <li>・ 災害時の写真</li> </ul> <div data-bbox="209 1279 603 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グラフから米の消費量が減っているから米を加工して消費を増やそうとしているのだな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常時用と書いてあるから災害の時に食べるように作ったのだろう。</li> <li>・ 新製品は買う人が多いから作った。</li> <li>・ 米をたくさん食べてもらうために作った。</li> <li>・ 精米機だけでは工場がもうからないから。</li> </ul> <div data-bbox="639 1323 911 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資料の写真を見ると災害が起こったときにCが役立つだろうな。</p> </div>	<p>自分の考えを明確にし、既習の内容や資料から理由付けできるように、プリントに書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを証拠となる資料を示しながら発表させる。</li> <li>・ 友だちの考えと自分の考えを比較し質問や反論ができるよう証拠の確認をさせる。</li> </ul> <div data-bbox="927 1361 1433 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>資料の本をみると健康を考える人にとって魅力ある商品を作っているな。登山やキャンプにも利用できるのだな。</p> </div>
深める	<p>5 .Cの学習のまとめをしましょう。</p>	<div data-bbox="639 1473 751 1585" style="text-align: center;">  </div>	
まとめる	<p>6 .3つのまとめの視点を入れてCを販売するときの宣伝の言葉を考えましょう。</p> <p>7 .次の時間はAの「お米の学校」に参加しましょう。</p>	<div data-bbox="639 1615 922 1765" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>工場は他の産業とかかわりあっている。消費者の必要に応じて製品を作っているな。</p> </div> <div data-bbox="703 1816 815 1928" style="text-align: center;">  </div>	<p>世の中のニーズに応じて新しい商品を開発し続けていく工場の工夫と努力について考えている。(シート)</p> <p>米の全部に関わるため。新しい商品を作ってAをより発展させるため。</p> <p>災害が多発し、社会がもともとめているため。影響を受けた考えを明らかにしながら自分の文章を発表させるため。</p>

(指導者：1組 高岡紀子)

5 本時（第3時）の目標

海外にAの工場をつくったわけを考えることを通して，市場拡大，生産コスト削減のために努力していることについて証拠をもとに考えることができる。

6 本時の展開

思考過程	発問・指示	予想される反応	指導の手だて 評価規準 研究仮説との関わり
つかむ	<p>1 写真や地図，年表から気づいたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海外のAの工場の写真と地図</li> <li>A海外拠点年表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きい工場だな</li> <li>Bと同じようにAも海外（外国）に工場を立てているんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題把握に確実につなげていくために海外に，「いつ」・「どこで」・「何を」の基本的 情報を投げかける。</li> <li>次々に海外工場をつくったことやアジアに多くあることに着目させ，課題への方向付けを図る。</li> </ul>
<p><b>なぜ，アジアにAの工場を多く作ったのだろうか。</b></p>			
	<p>2 予想しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精米器や精麦器，製粉器をたくさん売するため。</li> <li>つり合いの取れた貿易のため。（現地雇用・原材料貿易）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会見学したBも，海外に工場があることを想起させる。</li> </ul>
考える	<p>3 アジアにAの工場をつくった理由について調べましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アジアの米と小麦の生産量と人口分布図</li> <li>タイ工場の第三国への輸出状況図</li> </ul>	<p>[A]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の米の需要は減ってきているので，日本だけではもうからないから。</li> <li>米や小麦をたくさん作っているから，精米機・精麦機・製粉機がたくさん売れる。</li> <li>人口が多い国でたくさん売ってもうけるため。</li> <li>生産コストが低い。</li> <li>生産した機械をその国を通して早く他の国へ輸出できる。</li> </ul> <p>[それぞれの国]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つり合いの取れた貿易</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本だけではもうからないのか考えさせ，日本の農業の問題「米の消費量の減少」を振り返らせる。自分の考えを明確にし，既習の内容や資料から理由付けできるように，ジャストシートに書かせる。</li> <li>前に学習した，教科書や資料集の自動車工場の資料，自作の「A資料集」（生産コストに関する表）も参考にして調べさせる。</li> <li>Bでの学習を想起させる。</li> </ul>
深める	<p>4 調べたことを，証拠をもとに発表しましょう。</p>	<p>農業の学習で，米の消費量が減ってきたことを学習したよね。日本だけじゃもうからないから海外に工場を作ったんだ。</p>	<p>A資料集では，タイは生産コストが低いから精米機などを安く作れることがわかるね。自動車と同じように，安く作る方がもうかるね。</p> <p>タイ工場の輸出状況図で，タイは他の国に多く輸出していることがわかるよ。生産した機械をたくさんの国で売って利益をあげているんだな。</p>
まとめる	<p>5 ビデオでの話を聞いてまとめをし，本時の感想を書きましょう。ビデオ・インタビュー・A広報課の方</p>	<p>市場を拡大し生産コストを削減して利益をあげるために，アジアに工場をつくったんだな。</p>	<p>海外工場をつくった理由から，世界各国との結びつきや協力，会社発展のためのAの工夫や努力について考えている。（ノート）</p>
	<p>6 次時の課題提示をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品の様子はどんなだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時への見通しや調べ学習への意欲を持たせる。</li> </ul>

（指導者：2組 宮丸秀文）